

SEIKA TOWN ASSEMBLY PRESS

人、自然、
科学を結ぶ
学研都市精華町

6月定例会

議会だより

No.137

2012年8月1日発行



ワ~イ！ きもちいい～

6月定例会の本会議・意見書	2ページ
議案のあらましと表決結果	5ページ
常任委員会報告	6ページ
委員会活動など	9ページ
議会報告会の案内	10ページ

広報アンケート	11ページ
ここが聞きたい・一般質問／12人	13ページ
その後を追う	20ページ
街をつくる人	21ページ
ギャラリー華／山田荘小	22ページ

いての意見書提出

国の原子力政策についての意見書

国民の多くは今後、国の原子力政策の動向に注視している。政府は関西地区の夏の電力需給の逼迫を憂慮するがゆえに、大飯原子力発電所の再稼働を決定したが、国民への安全確保に対する説明は不十分である。

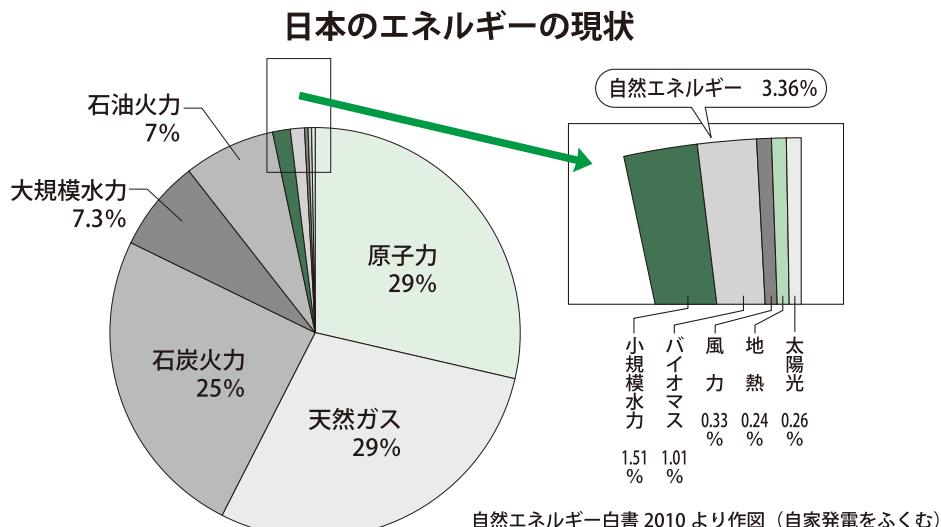
しかしながら、地元、おおい町、福井県の同意もあり、電力不足による国民や経済に与える影響を最小限に抑えるためには、原子力発電所を再稼働させることはやむを得ないと考える。

今後、福島原子力発電所事故の教訓を踏まえた新しい安全基準を早急に確立し、免震棟、防潮堤など、安全対策を早急に講じることが喫緊の課題である。

国においては「原子力に依存しない社会」の実現を目指して、省エネ・節電の推進に注力するとともに、太陽光などの再生可能エネルギーの施策を推進し、原子力への依存度を下げ、新しいエネルギー政策による社会の構築に取り組まれることを強く要望する。

記

1. 福島原子力発電所事故の教訓を踏まえた新しい安全基準と防災体制を確立し、国民への積極的な情報提供を行うこと。
2. 原子力に依存しない社会を目指して、再生可能エネルギーの推進を行い、新しいエネルギー政策による社会の構築に取り組むこと。
3. 使用済み核燃料の処理方法を早急に研究し確立すること。



本会議

6月定例会は、6月5日から26日までの22日間開催されました。町長提出議案については、補正予算7件、条例の一部改正・廃止など7件、契約3件の計17件で、すべて可決しました。議員提案の意見書については原子力発電に関する2件で内、1件が賛成多数で可決しました。3件の要望書は大飯原発の再稼動に関するもので、いずれも賛成少数で不採択になりました。詳細は、本会議と常任委員会の報告、「議案のあらましと表決結果」をご覧ください。

国の原子力政策について

意見書

『国の原子力政策について』

反対討論 「地元の同意もある」というが、

府内の30km圏内の首長は再稼動に反対している。「安全対策は喫緊の課題」と言っている。先送りしている。

賛成討論 安全問題と言いながらなぜ車の事故のことと言わないのであるか。便利さとひきかえに大きなリスクを負っている。原発事故死への対策は万全を期すものと考える。

反対討論 車の事故と原発事故とを同列視するのは問題だ。車の事故は限定的だが、原発事故は世界的な規模で、また、長期的に環境に重大な影響を与える。

賛成討論 段階的に原発の要らない社会をめざす。原子力規制委員会設置法が制定され、その下で安全基準を早急につくり、安全対策を講すべき。

【賛成17 反対4 賛成多数可決】

撤回を求める

反対討論 国民生活の維持のために再生エネ普及や省エネが大切。しかし、電気は産業社会の重要なインフラであり、原発停止は経済に深刻な打撃となる。

賛成討論 福島の事故をどう総括するのか。安全と経済を天秤にかけるのは大きな間違い。再稼動は、事故の痛みを踏みにじるもの。地元は二つに割れている。

【賛成4 反対17 賛成少数否決】

要望書

『大飯原発再稼動反対』

賛成討論 そもそも原発技術そのものが未完成で危険。原子炉の安定的な冷却技術や、膨大な死の灰を安全に閉じ込める技術がないもとの再稼動には反対。

【賛成4 反対17 賛成少数不採択】

『福島原子力発電所の事故原因が究明され、安全性が確認されるまでは大飯原発の再稼動を行わないことを求める』

反対討論 関電は再稼動しなければ15%節電と言う。計画停電・突発性停電で想定される様々な危険性を回避するため、苦渋の選択である。関西広域連合も県議会も今は容認している。

賛成討論 命と電気とを両天秤にかけるべきでない。電気不足は、電力会社相互の融通、水力・火力発電のフル稼働などによって解消できる。

【賛成4 反対17 賛成少数不採択】

『「大飯原発3・4号機の再稼動について一層慎重な対応を求める意見書』の提出を求める』

賛成討論 安全な原発ではなく、大飯原発の再稼動には反対ではあるが、一層慎重な対応を求める本意見書に妥協して賛成するものである。

【賛成4 反対17 賛成少数不採択】

23年度一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認

【概要】 補正額1億2436万円減額。各種

経費額確定、財源決定に伴う更正・組替え、基金積立など

【問】 年度途中で不用額が明らかになった段階で住民にとって切実な要望施策に回すべきではないのか。

【答】 事業によって終了する時期が異なるので、後年度以降の事業の財源をつくるために基金に積み立てている。

【問】 基金積立約1億8千万円はなぜ財政調整基金ではなく、目的基金なのか。

【答】 一般的には不用額は財政調整基金の赤字補てん分を積みもどした上で、後年度の懸案事業のために目的基金に積み立てることにしている。

【問】 宅地開発基金は何のために使うのか。
集会所やゴミ施設

の建設など短期的、中期的な視点でバランスをとりながら必要なものに充当する。

【全員一致承認】

23年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認

【概要】 補正額6千万円減額（介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金）。認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護施設を各3千万円で建設計画していたが、事業予定者から辞退届けがあつたため。

【問】 事業予定者からの辞退届けの理由は。

【答】 事業予定用地の一部が市街化調整区域にあるため府と調整を図つたが、相当な期間、調整を要するため。

【問】 認知症の2名が待機の状況である。

【答】 認知症の2名が待機の状況である。

【問】 該当施設の今後の建設計画は。

【答】 第6期介護福祉計画の中には建設予定はない。今後は審議委員会で審議する。

【全員一致承認】

24年度一般会計補正予算（第1号）

【概要】 補正額1,842万円増額。緊急雇用対策事業（学校図書館司書配置など）、相楽休日応急診療所負担金、火災予防活動（幼年消防クラブの育成）など。

【問】 学校図書館司書配置状況はどう変わったか。

【答】 年度当初予算では財源確保が難しく、前年度の1日7時間勤務が4・5時間勤務で10か月分（7、8月は休業）に削減せざるを得なかつた。しかし、緊急雇用対策事業を受けることにより、9月より1日7時間勤務に改めるもの。

【問】 7、8月も1日7時間勤務にすべきでは。

【答】 夏期休業中でもあり、当初の「休業」を

1日4・5時間勤務に改める。

【問】 学校図書館事業は、経常的予算で行うべきものであり、緊急雇用対策事業にはじまないのではないか。

【答】 財政的に厳しい中、緊急雇用対策事業費を使わざるをえなかつた。来年度は経常的予算になるよう努力する。

【問】 火災予防活動の鼓笛隊の楽器購入はどこに助成し、管理は。

【答】 消防署から星の光幼稚園に助成し、管理を委託する。

【全員一致承認】

□賛成討論

○司書配置に緊急対策

補助金の活用はなじまない。司書は効果があるので、来年度以降は恒常的な財源確保に努力することを要望して賛成する。

【概要】 平成4年に評価条例一部改正の専決処分の承認

【賛成17反対4賛成多数可決】

【賛成17反対4賛成多数可決】

【賛成17反対4賛成多数可決】

【賛成17反対4賛成多数可決】

【賛成17反対4賛成多数可決】

【賛成17反対4賛成多数可決】

【全員一致可決】

24年度一般会計補正予算（第2号）

【概要】 文部科学省から委託を受け、現行の基準によらない「人間力活動科」を山田荘小学校に指定・設置して教育課程を研究する。

■反対討論

「人間力」は、平成14年に政府の「骨太方針」に基づき文科省が提唱したもので、財界のための人材開発が目的であり、教職員が過重負担になる。

○1人の司書が1校当たり週2日では不十分なので当初予算を残すよう主張したが、来年度以降、財源の恒常化と

司書の常勤化を求め、賛成する。

引き上げるため、80%から90%の層の固定資産税、都市計画税が増額になるもの。

【答】 都市計画税は市街化区域のみに課税されるため。

評価替えによる増税の時、急激な税負担を緩和するために負担調整制度が導入されたもので、必要な制度だつた。税の公平性の視点から賛成する。

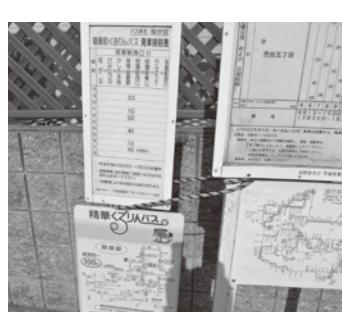
□賛成討論

地価が下がっても税が上がる矛盾の根本は、固定資産税の評価額を追加に関する請願

【賛成17反対4賛成多数可決】

【概要】 南部地域住民から、学研都市病院前やけいはんな公園にあるりんバスの停留所がなく不自由なので、くるりんバスのルート変更とバス停追加に関する請願

くるりんバスのルート変更とバス停追加に関する請願



【委員会の意見】

本請願の要望を踏まえ、多くの住民が学研都市病院へ行くことに不便をきたさないよう

3月議会で継続審議になつたため、現地調査（くるりんバスの南ルート乗車）をし、十

公示価格の7割に引上げた時に導入された「負担調整制度」にある。負担増に反対。

【全員一致採択】

本請願の要望を踏まえ、多くの住民が学研都市病院へ行くことに不便をきたさないよう直しをされたい。

議案のあらましと表决結果

[賛成○・反対●]

各議案のあらましと表決結果

種別	議案名と内容				結果		愛精会		共産党		精政会		住民派の会		民主党 クラブ		公明党 無会派				
					S	E	H	Z	S	M	P	T	A	R	S	M	Y	W	I	N	S
意見書	大飯原発の再稼動決定の撤回を求める 国の原子力政策について		否	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請願	くるりんバスのルート変更とバス停追加		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
要望陳情	福島原発の事故原因が究明され、安全性が確認されるまでは、大飯原発の再稼動を行わないことを求める 「大飯原発3・4号機の再稼動には慎重な対応を求める意見書」の提出		否	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
条例改正	税条例一部改正 (固定資産税などの負担調整措置の見直しなど)		可	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	24年度一般会計補正予算2号(教育研究開発事業) 補正額94万4千円		可	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
他	補正予算6件、条例改正等6件		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約	事業名 下水道 (泊田駅中②) 下水道 (東畑⑪) 泊田駅 東線築造⑩	相手方 杉山組・誠工務店 杉山興業・ 日本開発工業 岩井組	契約金額 8,009万円 7,273万円 7,840万円	落札率 84.9% 84.7% 84.9%																	

学校図書館司書の充実を

予算決算

特別会計

23年度補正予算

一般会計(専決処分)

介護保険事業

問 介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金6千万円の減額の理由は。

問 中学校図書費16万円の減額の要因と予算執行の考えは。

答 購入希望の本が在庫切れで、購入できなかつた。今後は適切な執行に努める。

問 宅地開発事業に関する諸施設整備基金の使途は。

答 道路建設、まちの基盤づくりなど、年度ごとに必要な事業に充当している。



問 精華町
防災マップ

24年度補正予算

一般会計

問 災害時に外国人を支援する体制整備は。

答 防災マップの4カ国表示や防災教育も実施予定。

答 自治会長との懇談会を通じて助成制度の説明をし、手続き上のコーディネートを行っている。

原案に対する賛成討論

条例改正

火災予防条例一部改正

【全員一致可決】

【概要】 炭酸ナトリウム過酸化水素付加物が追加され、電気自動車の急速充電設備が新たに対象正。

【概要】 危険物の規制に関する政令の一部改

て適切に司書配置するため、来年度以降は恒久的な予算確保に努力されることを要望し、賛成する。

【全員一致可決】

介護サービス事業

【概要】 23年度赤字分の要因となっているケアマネージャーは確保するのか。

答 改善できるよう検討したい。

※「介護サービス事業」とは、看護師が主治医の指示のもと、利用者の自宅を訪問して医療的な処置すること、および療養生活と介護の相談、日常生活の支援、精神的援助などをを行う事業。

【全員一致可決】

総務教育

問 退職被保険者等給付費の228万円の増加の理由は。

答 対象者が増加したことによる。

【全員一致承認】

《委員会の意見》

高齢者保健福祉計画に基づく地域密着型施設の整備にあたっては、事業者に対して適切な

執行に努める。

問 今後、改めて開設することに努力すべきではないか。

答 審議会で検討する。

【全員一致承認】

問 自治会が財団等のコミュニティーアイ助成金を活用して活動備品や自主防災会用資器材などを調達するうえで、手続き上の支援はできているか。

答 対象者が増加したことによる。

【賛成少数否決】

修正案に対する賛成討論

本来、学校図書には司書教員を配置すべきであるが、この間、緊急雇用対策経費で対応してきた。有効な施策として検証されている。

当初予算も活用して更に充実すべきである。

【全員一致可決】



建設産業

民生環境

要望・陳情

流域関連公共下水道事業(狛田駅中その2)

【概要】

公共污水栓、汚水管の布設を行う。

併せて、上水道の配水管の布設、道路改良工事を施工する。

【問】

最低制限価格が上がっているのは、

がつていているのは、国の指針に従つて率を80%にしたため。

【答】

【全員一致可決】

流域関連公共下水道事業(東畠その11)

【全員一致可決】

狛田駅東特定土地区画整理事業狛田駅東線道路築造等工事(その10)

【概要】

区域内の道路築造工事・宅地造成工事を行う。併せて、下水道管布設工事を施工する。

【全員一致可決】

【賛成多数可決】

条例改正

税条例の一部改正の専決処分の承認

【全員一致可決】

税条例の一部改正の専決処分の承認

【問】

住宅用地で増税になるのは負担水準(※)が80%～90%の納税者

【答】

平成24・25年度は80%～90%が、増税にな

【問】

80%～90%の納税者の全体での比率は。

【答】

小規模住宅は39.5%。一般住宅は13.5%。

※「負担水準」とは、本来の課税標準額に対する負担軽減した率のこと。

高齢者の医療費の助成に関する条例一部改正

【全員一致可決】

浴場設置並びに管理に関する条例の廃止

【全員一致可決】

地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する条例の廃止

【全員一致可決】

□賛成討論

不況に追い打ちをかけて消費税などの大増税のときに、固定資産税の引き上げは反対する。

□賛成討論

大飯原発の危険性について判断材料を待ち合わせないゆえ、安全性が確認されるまで稼

□賛成討論

事故の原因究明や科学的な安全基準が確立されていない状況での慎重な対応を求めていいる。

■反対討論

【賛成多数可決】

国民健康保険税条例の一部改正の専決処分の承認

【全員一致可決】

税条例の一部改正

【問】

下水道除害施設(※)の対象法人は1社であるが、税率を下げられないか。

【答】

対象法人が増えれば検討する。

【問】

※「下水道除害施設」とは、におい、汚水など公害の要因をとりのぞくための施設。

【全員一致可決】

大飯原発再稼働反対

■反対討論



因究明もされず、十分な安全対策も出されず、原子力への規制機関も確立されていない。

【賛成少数不採択】

動しないという事は当然である。

【賛成少数不採択】

福島原子力発電所の事故原因が究明され安全性が確認されるまでは、大飯原発の再稼働を行わないことを求め

「大飯原発3・4号機の再稼働について、一層慎重な対応を求める意見書」の提出を求め

夏場の計画停電や、その際に人の命がどうなるか、分からぬ部分がたくさんある。しかし、国や関西広域連合は必要な情報をもとに再稼働やむを得ないと判断している。

おおい町長は再稼働に同意の意向を表明されている。さらなる安全性の確保、防波堤の建設などを申し入れ、計画停電が行なわれた時などの準備もされて

したが、福島原発の原

首相は再稼働を表明する要望である。

【賛成少数不採択】

政務調査費の報告

本議会では、政務調査費を有効に活用し、調査研究・研修など活発に取り組んでいます。今回、平成23年度の使途別一覧表を掲載させていただきます。(議会ホームページにも同様の一覧表を掲載します)

平成23年度 政務調査費使途別一覧表

会派名	愛精会	共産党	精政会	の住民会派	クリアーブル改革	公明党	無会派 (議長)	無会派
所属議員数	6人	4人	3人	3人	3人	2人	1人	1人
交付額	490,000	336,000	259,000	252,000	252,000	168,000	60,000	55,000
支出額内訳	調査研究・研修費	339,945	105,531	0	219,675	0	100,860	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	8,375	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	66,984	43,072	9,600	0	0	0
	広報費	90,000	45,188	0	0	38,000	0	50,000
	事務費	2,764	31,761	18,465	4,990	9,660	8,074	0
支出額合計	441,084	249,464	61,537	234,265	47,660	108,934	0	50,000
残額	48,916	86,536	197,463	17,735	204,340	59,066	60,000	5,000
備考	(所属議員数5人→6人 6月分から変更)		(所属議員数4人→3人 5月分から変更)				返還 愛精会へ加入のため	5月から11カ月分

※ 交付額の算定方法

会派：月額7,000円 × 月の初日における会派の所属議員数 × 当該年度に属する月数

無会派：月額5,000円 × 当該年度に属する月数

※ 残額は町に返還しています



☆委員会活動

常任委員会・会派	開催日	審査事項
総務教育	4月20日	報告：①消火栓用器具の盗難 ②むくのきセンターの利用と管理運営の状況（現地調査を含む）
民生環境	4月25日	1 京都式地域包括ケアシステム総合交付金の活用状況（平成23年度実施） 2 報告：①税条例一部改正（専決処分）②国民健康保険税条例一部改正（専決処分）③地域密着型サービス事業者決定辞退の届出
	5月10日	在宅医療ケア支援施設（訪問看護ステーション）の現地調査
建設産業	4月17日	1 「くるりんバスのルート変更とバス停追加の請願」（南ルート乗車）継続審査 2 報告：入札制度の変更
	5月23日	1 「くるりんバスのルート変更とバス停追加の請願」採択 2 報告：入札制度の状況

☆委員会・会派研修の報告（学んできました 今後に生かします。）

常任委員会・会派	開催日	場所	目的	感想・今後の取り組み
総務教育	4月20日	奈良県 香芝市	災害応援協定等の締結状況、経緯や特徴など	・自治体間の災害時相互応援協定は、災害の広域化も想定すべきことから、府県を越えた近隣自治体間はもとより、比較的遠方自治体についても検討すべきと考える。 ・協定自治体先（名張市）での防災訓練に参加して連携を図っていることは大事なこと。 ・民間との協定には、経営評価のポイント加算など相手業者にとって有利になる条件も備えられており参考になる。
公明党	4月12日～13日	全国市町村国際文化研修所（大津市）	市町村議会議員特別セミナー受講（これからの子育て支援、児童虐待の現状と対策の必要性など）	・人間浴（つながり・やくわり・ぬくもり）ができる地域社会が「子育て支援」の土台になる。様々な子育て支援メニューは大人が用意している。子ども同士の相互教育力も必要と感じた。 ・児童虐待防止のため、機能強化や法改正をしても、携わる者の主体性ある対応が求められる。本町に設置されている協議会の検証を常に実施することが重要。

お詫びと訂正 前号で公明党会派の視察先を「長崎県」としましたが、「熊本県」の誤りでした。

☆広域議会報告

広域議会	開催日	場所	主な議題
相楽郡広域事務組合議会（臨時会）	5月17日	相楽会館会議室	24年度一般会計補正予算（第1号） (消費者行政に係る府補助金100万円を追加する) 【全員一致可決】

開かれた議会をめざして

議会報告と意見交換会を開催します!!

精華町議会では、町民の皆様に日ごろの議会の活動状況を知っていただくとともに、皆様のご意見やご提言を直接お伺いし、議会審議への活用や議会運営の改善を図るため、平成22年度から議会報告会を開催しています。

今年度は、下記の日程で開催しますので、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

日 時	場 所
10月19日(金) 午後7時～9時	精華南中学校・体育館
10月20日(土) 午後7時～9時	役場・交流ホール
10月21日(日) 午後7時～9時	コミュニティーホール(光台)

【内容】 1 議会の活動報告

2 意見交換（テーマ）

- ① 学校給食と食育について
- ② 地域福祉活動について
- ③ 交通網全体について

内容は3会場とも同じです。どの会場にご参加いただいても結構です。

議会広報アンケート

アンケートにご協力お願いします。

このアンケートは、「議会だより」「議会ホームページ」「議会放映」を一層充実化するためのものです。あなたの率直なご感想をお聞かせ下さい。

なお、アンケートは記名、無記名どちらでも可です。記名いただいた場合には個人情報は厳守いたします。回答期限は8月末までとさせていただきます。アンケート結果は次回議会だよりでお知らせします。

*ご記入は
自由です。
おなまえ
おところ

お電話

お年
歳



□欄に☑点でチェックし、()には自由に記述して下さい。

- 魅力ある紙面にと願い、今回、表紙をカラー化しました。感想は？

見やすくなった ふつう よくない

★理由は？ ()

- あなたの気に入っている記事は？その理由もお書き下さい。

定例会の本会議の報告や意見書 ()

予算・決算の表など資料の報告、コメント ()

主な議案のあらましと会派・個人別表決結果 (以前は会派別だけでしたが、個人別も導入) ()

一般・代表質問（代表質問は3月定例会のみ）()

常任委員会の会議報告 ()

政務調査費の報告（昨年度から「一層開かれた議会」にするため実施）()

各委員会の研修・活動や広域組合議会の報告
(閉会中の活動が一層充実化しています。
一覧表にしてわかりやすくしました) ()

（質問に対する行政の）その後を追う ()

街をつくる人（新旧地域交互に、住民の活動や
地域の産業・文化・歴史などを紹介しています）()

ギャラリー華（子どもの絵画作品）()

- 今後、とりあげてほしい記事は？（例えば、「住民の声の紹介」「難しい法律・用語の解説」など）

()

- その他、文字の大きさ、紙面構成、ページ数など何かお気づきのことをご自由にお書き下さい。

()

FAX(95-3972)・郵送、または庁舎総合案内に設置の「議会アンケート回収箱」に投函してください。



- 議会ホームページを見たことがありますか？

見たことがある 見たことがない

議会

- 議長のあいさつ ()
議員名簿／最近、住所と電話番号を付加しました ()
議会の構成 ()

議会情報

- 会議日程 () 代表質問通告書 ()
一般質問通告書 () 議案等議決結果 ()
請願審査結果 () 意見書・決議 ()
政務調査費 () 議長交際費 ()

住民と議会

- 要望・請願の手続き () 傍聴の手続き ()
 議会だより ()

議事録検索

- 議事録の閲覧（議事日程順で） ()
議事録の検索（ことばや発言者名で） ()
 ●新しく掲載してほしいことがありますればご記入下さい。広報常任委員会では、議案説明の掲載を現在検討中です。
 ()
 ●掲載方法についてご意見、ご要望があればご自由にご記入下さい。
 ()



- 生中継を見たことがありますか？

見たことがある 見たことがない

- 録画中継を見たことがありますか？

見たことがある 見たことがない

- 見た感想は？ ()

- 改善してほしいことがありますか？あれば□に記し、()にご意見を。

- 本会議だけでなく委員会中継もしてほしい ()
休憩中の扱い（テロップ、映像、音楽など） ()
その他 ()

☆ありがとうございました。皆さんの声を参考にさらにがんばります。

青木 敏 議員

Q ①地産地消型次世代
代都市づくり ②メガ
ソーラー発電推進事業
③けいはんな線の延伸
(府の自己仕分けで却
下) ④学研都市線の複
線化 (JR奈良線の複
線化は進むが) ⑤専用
技場誘致について問

A う。
①モニターリング
ートや電気自動車普及
に取組んでいる②2月
7日に聞いたが、府か
らの説明もないし、協
議の場の設定もない③
アクセス向上調査費の
予算要求はされたが、

Q 体育協会との協働は
むくのきセンター

A 予算措置はない。府と
の協議はない④複線化
の動向についての説明
も協議もない⑤本町に
は条件に合う整備可能
な候補地がない。

A 体育協会は、長年
にわたって本町の体育
振興の中心的な役割を
担っている。今後も協
働は必要と考える。

Q A

府との連携はとれているのか 協議の場が少ない

など体育施設の指定管
理者制度について、現
在窓口業務を委託して

いる体育協会との協働
の関係は、体育協会以
外が指定された場合で
も保てるのか。



むくのきセンター窓口



※質問者順に掲載しています。

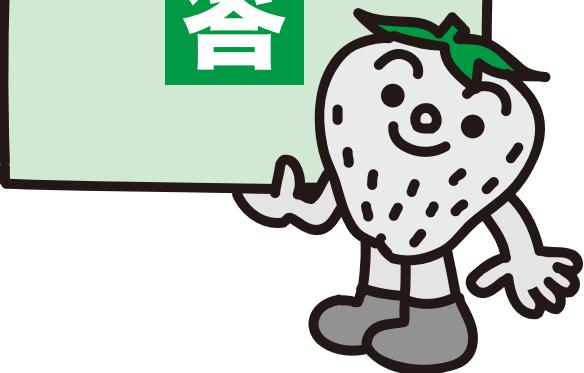
※は、本文以外の質問事項です。

ここが、聞きたい

一般質問

12人の議員が質問しました。

1問
1答



三原和久 議員

Q 鵜岡市で登校中の小学生ら10人が死傷した事故を受け、本町でも緊急に各学校に対し、通学路を対象に危険箇所を含む調査依頼をした。結果を受け、どのような対策をするのか。

Q 関西電力が全ての利用者に対して、お盆月7日までの平日9時を除く7月2日から9月7日までの平日9時

A 町内49ヶ所改善要望箇所がある。早急に実施する。

熱中症対策は

A から20時の間、一昨年の夏と比較して15%以上の節電への協力を要請した。特に気温が高くなる13時から16時間、重点的な節電を要請している。電気料金も13時から16時の間は約2倍



桜が丘内の交差点

A 「通学路交通安全対策会議」で検証する

以上に設定している。
昨年も全国で節電意識

が高くなるにつれて、
エアコンの節約などで
室内的温度が上昇し熱

中症と思われる事故が
多発した。本町の独居
家庭の安否確認などの
対策はどのような考え方

A 戸別訪問などを行
い対応する。

佐々木雅彦 議員



祝園駅東駐輪場

Q 通学路の安全対策はできているか

Q 「新しい公」におけるボランティア対応について①保険料を公費負担しているか否かの違いは②活動内容が保険の対象になるのか③事故発生時の対応方法を周知しているのか④重複加入のチェックは

A ①公共的活動か否か、財政支援を求めているか否かが基準②自主防災会は、訓練時のみ対象で、災害時は対象外③加入時に知りせている④できていな

Q 祝園駅東の駐輪場が満杯状態だ。増設か拡張を求める。
A 30台分程度拡張する予定。

Q 鉄道事業者の協力を
A 駅周辺の駐輪場問

A 公的分野のボランティア待遇は区別する

できているか。

祝園駅東駐輪場の拡張を

題は、鉄道事業者などと協議の場を設けるべきでは。

A 内部で検討する。

Q 若年層の健康管理は

Q 非正規雇用などの若年層の健康管理はどうするのか。

Q 公的支援制度はなく、実情も把握していない。

和田貴美子 議員

A 避難を呼びかける防災行政無線の整備が緊急課題である。自治体負担を8割弱から3割に減らす予算措置を施し整備を求めている。

A 全国瞬時警報システムの端末は庁舎5階

Q 避難を呼びかける防災行政無線の整備が緊急課題である。自治体負担を8割弱から3割に減らす予算措置を施し整備を求めている。

A 全国瞬時警報システムの端末は庁舎5階

A 巨大地震に備える対策、対応はさらに強化を目指す

Q 巨大地震に備える対策、対応はさらに強化を目指す

の危機管理室にあり、無線で同時に放送する体制を検討する。

Q 町内に15m以上の

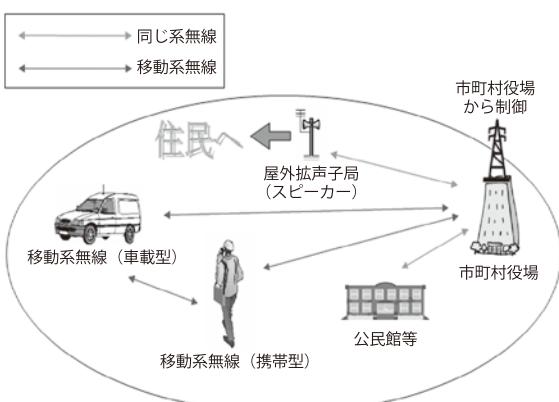
中高層マンション、事業所が39棟と増加している。救助対策を万全に期するためハシゴ車の配備を。

Q 家庭的保育事業

A 6ヶ月から3才未満の乳幼児5人以下を保育する事業が25年度

A 応援協定に基づき出動要請できる体制である。財政的に余裕ができる。それでもハシゴ車は必要ないと考える。

Q 22年度法制化され、保育ニーズに対応した形態の一つである。せいか台保育所より申し出があり、審査し判断する。



防災行政無線図

山本清悟 議員



人工呼吸器

Q 在宅で生命維持のために使用している医療機器の電源確保に、補助金などの支援策を。

A 国が、人工呼吸器の外部バッテリーを保険適用したので、購入補助は検討していない。

Q 自治会加入促進条例を制定は考えていないが、様々な自治会活動を通じて可能な範囲で支援する。

Q 自治会と町政協力のその後の進捗は、職員のコンプライアンス、倫理条例制定に向けた検討結果は、他市町村は、続発

Q 設置後の状況は、車のスピードは落ちていない。事故が起つた不祥事で制定している。本町は事象・事例がなく現状で対応。

A 一元管理は難しい。児童公園の遊具は全額町負担で修繕・更新を実施している。

Q 南稲地域の信号機園の一元管理は。

A 人工呼吸器等の電源確保に補助を

A 保険適用したので購入補助は検討していない

鈴木秀行 議員

Q 脱原発の立場に立ち、エネルギー政策を再生可能（自然）エネルギーを中心に切り替えていくべきでは。

A 導入コスト、設備の設置条件、効率、安定供給等課題が多い。

Q 自然エネルギーの

利用には、最先端の知識や技術が必要。学研究所・企業との協働で、町内の綿密な資源調査を。

A いまだ開発や改良途上にある技術の導入を、町単独で行うには

リスクを伴う。資源調査の予定はない。

Q 誰もが払える国保に負担の限界にある国保税について、負担増と滞納増の悪循環を断ち切るために、平等割、均等割の見直しを検討する」とのことだ

A 応益割として安定的な財源の側面を持つことから、引き続き慎重に検討したい。

Q 必要な医療を保障する観点から、短期・無資格者の実態を伺う。

A 本町では、分割納付を協議することにより短期証を交付する。



太陽光パネル

Q 再生可能エネルギーへの転換を A いまだ改善の余地が多い分野

坪井久行 議員



光台配水池

府営水のカラ水問題、即ち、「当初の人口予測によつて設定された基本水量に基づき、実際に使わなくても毎年約2億円を府に払っている問題」の早急な解決をすべきだ。学研開発当初、平成22年に

は5万5千人の人口目標だったが、実際は3万6千人であり、目標と実態とが乖離している。このままでは水道料金引上げも問題になる。府営水条例には、「水量の決定について

は各自治体が毎年の必要水量を府に申請し、協議して決定する」とされており。府に強く見直しを求めるべき。

A 基本水量は府と受水市町間の建設時の確約事項であり、ダムの水利権確保や施設建設

菱田山ノ下の信号機設置、農免道路の歩道整備、奈良基地祭の戦闘機飛行問題も質問しました。

Q 「カラ水」の負担見直しを府に強く A 建設負担的な費用である

など建設負担金的な費用である。大山崎町の裁判でも、基本水量の決定は府の裁量権の範囲との判決だ。一方、受水費の負担は大きいので、費用負担の軽減を府に要望している。

Q

用である。大山崎町の裁判でも、基本水量の決定は府の裁量権の範囲との判決だ。一方、受水費の負担は大きいので、費用負担の軽減を府に要望している。

村尾礼示 議員

Q ①住民や自治会等への意識啓発は②醸成に向けた支援は。

A ①幸せを本当に実感できる社会の実現につながるとの認識から、公共的活動を担う地域全体で取り組んでいく

Q 子育て支援は

Q A 共助の社会づくりを 自治会を基礎に促進する

Q ②活動支援を総合的に行う体制の確立や、防災面からの各種団体との連携など課題もある。

A ①幸運な子育て支援は。

Q ほしい人」「子育てを応援したい人」による一時的な子育て支援は。

A 町では「ファミリーサポート事業」は行つてないが、社会福祉協議会で類似する「ふれあいサポート事業」で、育児などに関する

相互援助活動を行っている。核家族化が進行している状況で、助けを求める保護者を援助する

様々なサポートの充実が求められている。今後、新しいサービスをつくる場合、どのようなサービス形態、時間帯、曜日が必要なのか、調査をしていく。



交流フォーラム

神田育男 議員



山手幹線北進

Q 「議会決議を重く受けとめる」この言葉は何回も聞いている。私はアンケートの結果は質問していない。完全給食の定義は学校給食法の施行規則で定められている。中学校の学習指導要領にも、学

A 教育委員会で青少年の健全育成も含めて年齢別割合をどう果たすべきだ。

Q 今後10年のまちづくりのために①山手幹線内の幹線道路の整備を急げ

A ①平成27年度に暫定2車線で、京田辺市まで開通する。②泊田駅東地区の整備事業を優先的に進めており、泊田駅周辺整備は、中長期的課題として取り組む。

Q A 中学校完全給食の議会決議を尊重せよ 重く受けとめている。

校給食は教育に対する教育指導の場所と位置づけている。本当に議会決議を重んじるなら

すかを検討していく。

線・精華大通りの延長計画は②泊田駅周辺、北の玄関口として整備計画は。

今方晴美 議員

学校・町立図書館の充実と読書活動の推進を

Q オーナー制度で抑えられた予算は他の図書、雑誌の充実に充てることができる。図書館で雑誌を減らさず、住民ニーズにこたえる

A 新たなニーズに応え、発展、充実させていく手法であり、積極的に検討する。

Q 読書に親しむための環境づくりを積極的に行つていくことが重要である。(1)計画的に、

学校・町立図書館の充実と読書活動の推進を

Q オーナー制度で抑えられた予算は他の図書、雑誌の充実に充てることができる。図書館で雑誌を減らさず、住民ニーズにこたえる

A 早い時期に実施する。

Q 図書館に雑誌オーナー制度の導入を

A 上げと、環境整備を一層進めるため「読書の日」の制定を。

A ①司書配置に向けての財源確保に努める

②町立図書館を効果的にPRするため、提案の手法も参考に工夫する

③趣旨は、意義あることと認識している。

他の事例も参考に、幅広く意見を聞き、検討する。



図書館でのおはなし会

森元 茂 議員



町道

Q 既存地域には、消防車や救急車の進入が困難な町道が多い。狭い道路を拡幅する取り組みと方策は。

A 道路のり面の利用や側溝の蓋かけなどで、幅員確保に努め改善を図っていく。

A 補装できる箇所は町が早期に実施する。

A 精華大通り西進の見通しは。

A 事業主体は府県では現在は事業化の見通し

Q 教師間での授業、行事交流の実施は、児童、生徒の実態を把握でき、発達や学びがスマートに図られると考える。保育士、教師の連携は

Q 資質向上の施策は、異校種間連携は高い学力、豊かな人間性を育み、小1プログラム、中1ギヤップなど進学時の不適応を軽減できる。就学前から中学校卒業までの系統的な支援を行うため、学習会や交流会を実施する。

Q 狹い町道の拡幅は

A 改善に努める

Q 地権者の寄付による場合の拡幅への対応

Q 教師間での授業、行事交流の実施は、児童、生徒の実態を把握でき、発達や学びがスマートに図られると考

Q 資質向上の施策は、異校種間連携は高い学力、豊かな人間性を育み、小1プログラム、中1ギヤップなど進学時の不適応を軽減できる。就学前から中学校卒業までの系統的な支援を行うため、学習会や交流会を実施する。

本会議の生中継・録画中継について

生中継は本会議開催中は、いつでもご覧になれます。また、録画中継については各定期会（3月、6月、9月、12月）の閉会後10日前後をめどに皆様に視聴できるよう更新しております。

また、検索画面（会議名、会議日、議員名、会派名）などがあります。詳細は中継録画画面の操作説明をご覧ください。

下記の精華町議会ホームページ（下記のアドレス）の左下の「議会中継」を選択してください。

■ホームページ URL
<http://seikagikai.town.seika.kyoto.jp/>



松田孝枝 議員



光台近隣センター

Q 大飯原発近接の京都府内自治体も反対を表明している。再稼動に反対し、エネルギー対策の転換を求める。

Q 「脱原発首長会議」への参加を呼びかけで「脱原発首長会議」が設立された。正當性と説得力が必要だ。不都合ある時は、即時停止を求める。

Q 中学校の部活についてない。長会議が設立された。「平和首長会議」に賛同した本町として、参加すべきではないか。

Q 「光台近隣センターの利活用」について質問しました。

Q

A 将来的には「脱原発」に

Q

大飯原発再稼動に反対を

Q

わった。
 ①現況と位置づけ②特別支援学級・通級生徒の部活保障を。で部活の位置づけが変

①教育活動の一貫と位置づけ、参加率は95～100%②希望通りに参加ができるよう

その後を追う

議会だより 133号より
(H23.08.01発行)

どこまで進んだの!?

携帯電話の活用で「高齢者見守り・生活支援システム」の創設を

その時の答 提案に類似した、生活支援システムのための調査を進めていく。

その後現在は… 町では、京都府地域包括ケア総合交付金などを利用して、一人暮らし高齢者の方のニーズを把握するアンケート調査やヒアリング調査などを実施し、その結果を受けての優先課題として、高齢者等見守り対策の取り組みをしました。具体的には、町内の一人暮らし高齢者全員を対象に、緊急医療情報キット配布事業と、日常から災害時まで利用できる携帯電話やスマートフォンを活用した見守り訪問メモシステム事業の運用を開始しました。
(福祉課)



学校に図書館司書の常駐を

その時の答 学校と調整して取り組みたい。司書は予算確保に努力する。

その後現在は… 現在もこれまでどおり一校当たり週に2日ずつ各校へ図書館司書を配置しております。児童、生徒や教職員にとっても有意義で、子ども読書の推進には効果的な取り組みであることから、今後も引き続き学校図書館運営の充実に努めています。
(学校教育課)

中学校の給食導入について、アンケート調査の実施を

その時の答 食育の観点から、中学生の食生活全般にわたる実態を把握するため、幅広くアンケート調査の実施を検討している。

その後現在は… 平成23年12月に「小・中学生の食生活についてのアンケート」を実施し、現在、この集計や分析を終えたところであり、今後さらに中学校給食導入を含めた子どもの食のあり方について幅広く検討を進めています。
(学校教育課)

お知らせ

■次回（平成24年第3回）定例会は、9月5日（水）からはじまります。

■ 請願・陳情・要望書の提出をされる方は、8月28日（火）午後5時までに、
精華町議会事務局（町役場6階）へ提出してください。

「あなたも議会を傍聴してみませんか」

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL：95-1908 FAX：95-3972

■議会だより・会議録が精華町議会ホームページより検索できます。

<メールアドレス> gikai@town.seika.kyoto.jp <ホームページ> <http://seikagikai.town.seika.kyoto.jp/>

街をつくる人

58

捨てごみゼロをめざして…クリーンパートナー精華台

京都のある有名なお寺で、毎朝修行の僧侶たちがまず行うのが、建物やお庭などの清掃であるとあるテレビ番組が伝えていました。なるほど日々の努力によつてあの建物や庭園の美しさが保たれ、訪れる人々の心を打つのだと思います。

私たち精華台に住む仲間たちは、「精華台を町内で最もきれいな街にしたい。」との思いで平成20年10月に有志11人によって「クリーンパートナー精華台」を立ち上げました。

以来3年半になりますが、登録メンバーも今は19人に増え、精華台の環境美化は

京都のある有名なお寺で、毎朝修行の僧侶たちがまず行うのが、建物やお庭などの清掃であるとあるテレビ番組が伝えていました。なるほど日々の努力によつてあの建物や庭園の美しさが保たれ、訪れる人々の心を打つのだと思います。

この頃は、小学生や奥様方などメンバー以外の方々も自発的に協力されている姿が見受けられ、精華台の環境美化はますます進んできました。



私たちの願いは、マナーの向上で「ゴミを拾わなくともよい」きれいな街にすることです。



日を追つて成果が現れてきました。

地域内くまなく ローラー作戦 ゴミを拾わなくて よい街に

私たちは日時を決めていい思いに美化活動をするのではなく、各メンバーが時間も区域も自分の都合で思い思いに歩き回つて、結果は全域をカバーするローラー作戦であり、その姿は多くの住民が目にしてくれています。

私たちは2ヶ月ごとに集会所でミーティングを行い、メンバー相互の情報交換や季節ごとの重点項目なども相談しながら明日からの活動に備えています。

また住民向けの広報も手がけ、街ゴミ、捨てゴミ、犬の糞のない街を目指して回覧板やミニステッカーなどによる啓発にも力を入れてきました。

2ヶ月ごとに ミーティング

「町をきれいにする条例」 を生かそう

私たちがかねてから要望していた「町をきれいにする条例」が昨年7月にようやく施行されました。街の環境美化は町内全域の課題として、条例を生かした町をあげての取組みが大切だと思います。私たちはその先頭を行くことをめざして、ある者は早朝暗いうちから、ある者は登校見回りの前後に、また夕方の者、土日限定の者などさまざまなスタイルで今日も街中を巡回しています。

最近は、他地区のグループや自治会などでも進んで美化作戦に取り組んでおられますと聞き、町内あちこちで環境美化の動きが拡がってきたことを心強く思いました。

しかし、精華台には山手幹線や精華大通り、ニレの木通り（バス通り）などの幹線が通っているため、他の地域からの通過車両も多く、不心得な車からの投げ捨てが後を絶たず、いつも悩まされているところです。

ギャラリー

Gallery Hana

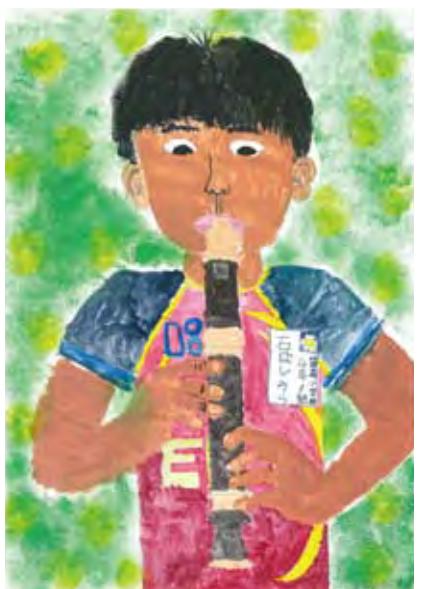
華

山田莊小学校
児童の作品



「笛を吹く友だち」…4年1組

羽田 美咲さん



必要

5年1組

高畠 寿々菜さん

五年

高畠 寿々菜

必 要

「旅」

5年2組

杉浦 慶子さん

旅

「笛を吹く友だち」…4年2組

守内

寧音さん



編集後記

本号より表紙面のカラー化が実現しました。カラーにするにあたり2年前より、広報委員会で編集方法を検討し、できるかぎり委員で作業し、文字入力もデジタル化

し、経費と作業の効率化をはかりました。

今後は常任委員会のインターネット中継実施に向け調査、検討中ですので、しばらくお待ちくださいようお願い申し上げます。

広報常任委員会

坪井 久行・三原 和久・和田貴美子
安宅 吉昭・塩井 幹雄・今方 晴美
宮崎 瞳子

議会事務局

TEL : 0774-95-1908
FAX : 0774-95-3972